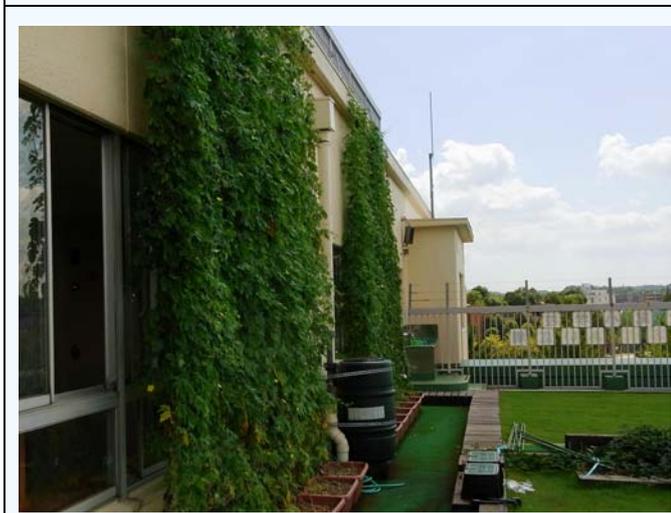


テーマ: 『 地球温暖化によるヒートアイランド現象を捉え、環境問題に積極的に関わる子どもの育成 』

横浜市立 太尾小学校

Tel. 045-541-7651

担当者: 常田 幸江



■実践内容:

本校では、2009年1月に屋上緑化広場が完成した。本校が位置する横浜市港北区は市内でも気温が高いことから、区のモデルプランとして屋上緑化を取り入れた。その開設にあわせ、気象観測システムを導入し、環境委員会や5年生の理科学習で、気温を中心とした気象観測を行った。また、4年生ではツルレイシを使ってグリーンカーテンを育て、緑化による気温の違いを測定した。ツルレイシを栽培する場所を変えて、生育環境による成長の違いについても調べた。

■実践成果:

屋上緑化した事実とそこに気象観測システムを設置した教育環境により、子どもたちの気温への関心が高まった。観測システムの導入で、休日の気象の状況についても詳しく調べられた点がとくによかった。また、グリーンカーテンによる気温の違いを調べた結果、カーテンの有無によって、室内の温度が2~4℃程度温度が違うことも分かった。今後は屋上緑化と教室内の温度の関係についても詳しく調べていきたい。

■実践ポイント:

小学生にとって環境問題を身近に感じることは難しいが、実際に自分たちが気温を観測することを通して、温暖化の問題を身近なものとして捉えられるようにした。また、グリーンカーテンを作るという自分たちの行動が、温暖化防止のために役立ったという実感をもつことで、環境問題についてより積極的に関わろうとする態度を育てることができた。